

注3

大学番号：188

[令和2年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

届出

同朋大学大学院 人間学研究科 仏教人間学専攻（D）

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人同朋学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部

職名・氏名 課長補佐 タケタニ 竹谷 シンゴ 慎吾

電話番号 052-411-1114

（夜間） -

F A X 052-411-0333

e-mail gakumu@doho.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人間学研究科

＜仏教人間学専攻（D）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21
8. (添付資料) 同朋大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会規程	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人同朋学園

(2) 大学名

同朋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒453-8540

愛知県名古屋市中村区稲葉地町7-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コウムラ カズヒロ) 甲村 和博 (平成24年3月)		
学長	(マツダ マサヒサ) 松田 正久 (平成30年5月)		
研究科長	(メグロ タツヤ) 目黒 達哉 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
人間学研究科 仏教人間学専攻 博士（文学）	文学関係	3年	2人		6人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	/										2 (-) [-]			
志願者数	/										3 (-) [-]	() []		
受験者数	/										3 (-) [-]	() []	1.5倍	1.5倍
合格者数	/										3 (-) [-]	() []		
B 入学者数	/										3 (-) [-]	() []		
入学定員超過率 B/A	/										1.5			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次									3 [-]	[]	
2年次											
3年次											
4年次											
計									3 [-] (-)		

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
平成29年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
平成30年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	3 人	0 人	平成28年度	- 人	- 人	
			平成29年度	- 人	- 人	
			平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要 - ①

<人間学研究科仏教人間学専攻（D）（仏教文化分野）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導	仏教文化特殊演習Ⅰ	1前	2			3	1					
	仏教文化特殊演習Ⅱ	1後	2			3	1					
	仏教文化特殊演習Ⅲ	2前	2			3	1					
	仏教文化特殊演習Ⅳ	2後	2			3	1					
	仏教文化特殊演習Ⅴ	3前	2			3	1					
	仏教文化特殊演習Ⅵ	3後	2			3	1					
	小計(6科目)	—	12	0	0	3	1	0	0	0	0	0
論文	博士論文	3通				3	1					
	小計(1科目)	—	0	0	0	3	1	0	0	0	0	
合計(7科目)			—	12	0	0	3	1	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
12単位修得。併せて博士論文の提出・合格が必要。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導	仏教文化特殊演習Ⅰ	1前	2			4						
	仏教文化特殊演習Ⅱ	1後	2			4						
	仏教文化特殊演習Ⅲ	2前	2			4						
	仏教文化特殊演習Ⅳ	2後	2			4						
	仏教文化特殊演習Ⅴ	3前	2			4						
	仏教文化特殊演習Ⅵ	3後	2			4						
	小計(6科目)	—	12	0	0	4	0	0	0	0	0	0
論文	博士論文	3通				4						
	小計(1科目)	—	0	0	0	4	0	0	0	0	0	
合計(7科目)			—	12	0	0	4	0	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
12単位修得。併せて博士論文の提出・合格が必要。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

・専任教員退職とそれに伴う専任教員の追加補充により、「仏教文化特殊演習Ⅰ～Ⅵ」及び「博士論文」の専任教員等の配置を「教授3」、「准教授1」から「教授4」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	0 科目	0 科目	6 科目	6 科目 []	0 科目 []	0 科目 []	6 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

2 授業科目の概要 - ②

<人間学研究科仏教人間学専攻（D）（臨床心理分野）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導	臨床心理学特殊演習Ⅰ	1前	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅱ	1後	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅲ	2前	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅳ	2後	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅴ	3前	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅵ	3後	2			2	1					
	小計(6科目)	—	12	0	0	2	1	0	0	0	0	0
論文	博士論文	3通				2	1					
	小計(1科目)	—	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0
合計(7科目)			—	12	0	0	2	1	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
12単位修得。併せて博士論文の提出・合格が必要。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導	臨床心理学特殊演習Ⅰ	1前	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅱ	1後	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅲ	2前	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅳ	2後	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅴ	3前	2			2	1					
	臨床心理学特殊演習Ⅵ	3後	2			2	1					
	小計(6科目)	—	12	0	0	2	1	0	0	0	0	0
論文	博士論文	3通				2	1					
	小計(1科目)	—	0	0	0	2	1					
合計(7科目)			—	12	0	0	2	1	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
12単位修得。併せて博士論文の提出・合格が必要。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	0 科目	0 科目	6 科目	6 科目 []	0 科目 []	0 科目 []	6 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	名古屋音楽大学、名古屋造形大学と共用 数値の見直し、修正を行ったため（令和2年度）		
	校舎敷地	299㎡	16,213㎡	44,133㎡	60,645㎡			
	運動場用地	0㎡	71,779㎡ 71,780㎡	0㎡	71,779㎡ 71,780㎡			
	小 計	299㎡	87,992㎡ 87,993㎡	44,133㎡	132,424㎡ 132,425㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	6,615㎡	6,615㎡			
	合 計	299㎡	87,992㎡ 87,993㎡	50,748㎡	139,039㎡ 139,040㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	名古屋音楽大学と共用			
	10,531㎡ (10,531㎡)	9,360㎡ (9,360㎡)	12,037㎡ (12,037㎡)	31,928㎡ (31,928㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体数		
	16室	15室	6室	1室 (補助職員0人)	0室 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	仏教人間学専攻		15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	仏教人間学専攻	138,500 [19,850] (136,507 [19,521])	1,200 [46] (1,101 [42])	26 [26] (24 [24])	1900 (1,796)	110 (100)	0 (0)	
	計	138,500 [19,850] (136,507 [19,521])	1,200 [46] (1,101 [42])	26 [26] (24 [24])	1900 (1,796)	110 (100)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
	2,839.98㎡		295	264100				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				体育館については、同一学園内の高校及び名古屋造形大学（小牧キャンパス）のものを使用	
	0㎡		卓 球 場（善友館） 多 目 的 室（善友館）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	第1～2年次は前期課程、第3～5年次は後期課程 第3年次納付金は、本大学院前期課程修了生は入学金190千円を除く
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	300千円	300千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	600千円	300千円	300千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学等の名称											備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
同朋大学											
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	愛知県名古屋市 中村区稲葉地町 7丁目1番地	※平成30年度入学定員減(△10) ※平成30年度入学定員増(+10)
仏教学科	4	10		60	学士(文学)	1.12	1.30		昭和25		
人文学科	4	60		220	学士(文学)	1.29	1.17		昭和39		
社会福祉学部			3年次								
社会福祉学科	4	190	10	780	学士(社会福祉)	1.08	1.23		昭和36		
人間学研究科											
仏教人間学専攻	2	13		26	修士(文学)	0.69	0.69	-	令和2		
					修士(人間福祉)						
					修士(心理学)						
文学研究科	3	2		6	博士(文学)	1.50	1.50	-	令和2		
仏教文化専攻	2	5		10	修士(文学)	-	-		平成15		
	3	2		6	博士(文学)	-	-		平成17		
人間福祉研究科											
人間福祉専攻	2	4		8	修士(人間福祉)	-	-		平成16		
臨床心理学専攻	2	4		8	修士(心理学)	-	-		平成27		
別科 仏教専修	1	30		30	-				昭和61		
名古屋音楽大学											
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
音楽学部	年	人	年次人	人		倍	倍			愛知県名古屋市 中村区稲葉地町 7丁目1番地	
音楽学科	4	120		480	学士(音楽)	0.97	1.06		昭和51		
音楽研究科											
器楽専攻	2	9		18	修士(音楽)	1.38	1.11		昭和62		
声楽専攻	2	5		10	修士(音楽)	0.70	0.80		昭和62		
作曲専攻	2	2		4	修士(音楽)	1.25	1.50		昭和62		
音楽教育学専攻	2	2		4	修士(音楽)	0.25	0.50		昭和62		
名古屋造形大学											
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
造形学部	年	人	年次人	人		倍	倍			愛知県小牧市大 草年上坂6004番 地	※平成30年度入学定員減(△20)
造形学科	4	240		960	学士(造形)	1.03	1.24		平成2		
造形研究科											
造形専攻	2	10		20	修士(造形)	1.20	1.10		平成15		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人間学研究科仏教人間学専攻（D）>

（1）－①担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	蒲池 勢至 () <令和2年4月> 博士(文学)
		仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ
専	教授	福田 琢 () <令和2年4月> 文学修士
		仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ
専	教授	安藤 弥 () <令和2年4月> 博士(文学)
		仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ
専	教授	大住 誠 () <令和2年4月> 博士(医学)
		臨床心理学特殊演習Ⅰ 臨床心理学特殊演習Ⅱ 臨床心理学特殊演習Ⅲ 臨床心理学特殊演習Ⅳ 臨床心理学特殊演習Ⅴ 臨床心理学特殊演習Ⅵ

【令和2年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	蒲池 勢至 () <令和2年4月> 博士(文学)
		仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ
専	教授	福田 琢 () <令和2年4月> 文学修士
		仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ
専	教授	安藤 弥 () <令和2年4月> 博士(文学)
		仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ
専	教授	大住 誠 () <令和2年4月> 博士(医学)
		臨床心理学特殊演習Ⅰ 臨床心理学特殊演習Ⅱ 臨床心理学特殊演習Ⅲ 臨床心理学特殊演習Ⅳ 臨床心理学特殊演習Ⅴ 臨床心理学特殊演習Ⅵ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	目黒 達哉 () <令和2年4月> 博士(心理学)	専	教授	目黒 達哉 () <令和2年4月> 博士(心理学)
		臨床心理学特殊演習Ⅰ 臨床心理学特殊演習Ⅱ 臨床心理学特殊演習Ⅲ 臨床心理学特殊演習Ⅳ 臨床心理学特殊演習Ⅴ 臨床心理学特殊演習Ⅵ			臨床心理学特殊演習Ⅰ 臨床心理学特殊演習Ⅱ 臨床心理学特殊演習Ⅲ 臨床心理学特殊演習Ⅳ 臨床心理学特殊演習Ⅴ 臨床心理学特殊演習Ⅵ
			専	教授	織田 顕祐 () <令和2年4月> 博士(文学)
					仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ
専	准教授	伊東 恵深 () <令和2年4月> 博士(文学)	専	准教授	
		仏教文化特殊演習Ⅰ 仏教文化特殊演習Ⅱ 仏教文化特殊演習Ⅲ 仏教文化特殊演習Ⅳ 仏教文化特殊演習Ⅴ 仏教文化特殊演習Ⅵ			
専	准教授	石牧 良浩 () <令和2年4月> 博士(文学)	専	准教授	石牧 良浩 () <令和2年4月> 博士(文学)
		臨床心理学特殊演習Ⅰ 臨床心理学特殊演習Ⅱ 臨床心理学特殊演習Ⅲ 臨床心理学特殊演習Ⅳ 臨床心理学特殊演習Ⅴ 臨床心理学特殊演習Ⅵ			臨床心理学特殊演習Ⅰ 臨床心理学特殊演習Ⅱ 臨床心理学特殊演習Ⅲ 臨床心理学特殊演習Ⅳ 臨床心理学特殊演習Ⅴ 臨床心理学特殊演習Ⅵ

- (注) ・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時)
- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

・伊東 恵深准教授の就任辞退により、織田 顕祐教授に変更。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
3	2	2
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	2	0	0	7	0	6	1	0	0	7	0
(5)	(2)	(0)	(0)	(7)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
4	3	0				5	2	0			
(4)	(3)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	1	0	0	7	0	6	1	0	0	7	0
[+1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[]	[+1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
5	2	0				5	2	0			
[+1]	[Δ1]	[]				[+1]	[Δ1]	[]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）**
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{3}{7} = \boxed{42.85} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	伊東 恵深	R元. 12	必修	仏教文化特殊演習Ⅰ	①	本学を退職したため			
				必修	仏教文化特殊演習Ⅱ	①				
				必修	仏教文化特殊演習Ⅲ	①				
				必修	仏教文化特殊演習Ⅳ	①				
				必修	仏教文化特殊演習Ⅴ	①				
				必修	仏教文化特殊演習Ⅵ	①				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{7} = 14.28 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員の交代は、病気のため就任辞退の申し出があったため、やむ得ないと考えている。学生にはただちに連絡し、意向を確認した上で開講することとした。新年度のガイダンス等で改めて周知し、学生に不利益とならないように配慮している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和元年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。(仏教人間学専攻(M)、仏教人間学専攻(D))	届出時に、完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員2名である。後期課程を担当できる専任教員は相当の教育歴・研究歴を要すると考えられ、後期課程の学生の教育研究活動の質の担保を図っていきながら、年齢に偏りがないようにしていく。	現時点で、完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員2名である。博士前期担当教員を後期課程担当として登用し、中堅教員にスムーズに交替していけるようにする。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院 人間学研究科 仏教人間学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
変更事項は特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 同朋大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 同朋大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会：第1回2020年4月30日（専任教員全員参加）</p> <p>c 委員会の審議事項等 遠隔授業の実施について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 授業方法について研究会 大学院における遠隔授業の実施について</p> <p>b 実施方法 ・ 学務部長、情報センター職員より遠隔授業の実施案が提示され、質疑応答を実施した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 第1回2020年4月30日（専任教員全員）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 現在取組中で、日々問題点が生じており、その対応に苦慮している。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 2020年7月末から8月初旬にかけて、実施予定である。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 教員に「学生による授業評価アンケートに」結果に伴う自己評価等を記載した報告書の提出を求める予定である。</p>
--

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
・令和2年4月に開設し2か月弱の段階なので、来年度令和3年6月1日 公表予定に向けて総括評価・所見を記載する。
- ② 自己点検・評価報告書
- a 公表（予定）時期
・令和2年4月に開設し2か月弱の段階なので、来年度令和3年6月1日 公表予定である。
- b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行する。
・大学ホームページ上に公開予定（令和3年6月末を予定）
- ③ 認証評価を受ける計画
・令和3年に評価機関（大学評価機構）の評価を受ける予定である（学内での決定事項）

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書（令和2年度）
- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]
- ≪ aで「有」の場合 ≫
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]
- ≪ aで公表「無」の場合 ≫
- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

同朋大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会規程

(目的及び設置)

第1条 学校法人同朋学園の建学の理念及び同朋大学大学院の教育理念・教育目標に基づき、教育力向上のための教育方法や研究及び授業改善に資することを目的として、ファカルティ・ディベロップメント(Faculty Development)委員会(以下「FD委員会」という。)を設置する。

(構成)

第2条 FD委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 委員長(学長が兼務する)
- (2) 研究科長
- (3) 学務部長
- (4) 委員長が指名する大学院担当の教職員 4名
- (5) 事務部長

2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 FD委員会は、必要に応じて関係教職員の出席を求め、意見を聴取することが出来る。

(審議事項)

第3条 FD委員会は、次の事項を審議する。

- (1) ファカルティ・ディベロップメント推進のための企画及び実施に関すること
- (2) ファカルティ・ディベロップメントに関する報告
- (3) その他、委員長の諮問する事項

(運営)

第4条 FD委員長は、委員会を招集し議長となる。

(事務)

第5条 FD委員会の事務担当は、事務部とする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、学長が行う。

附 則

この規程は、平成27年10月3日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。